

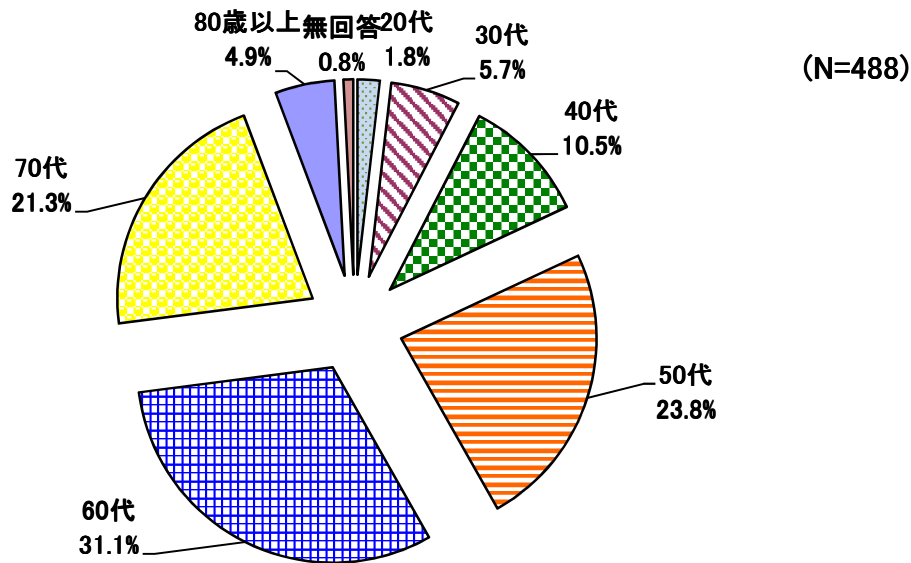
長尾和宏氏講演会「平穩死」10の条件 アンケート結果

一般来場者数 557人
アンケート回収数 488枚
回収率 87.6%

1 ご本人のことについて

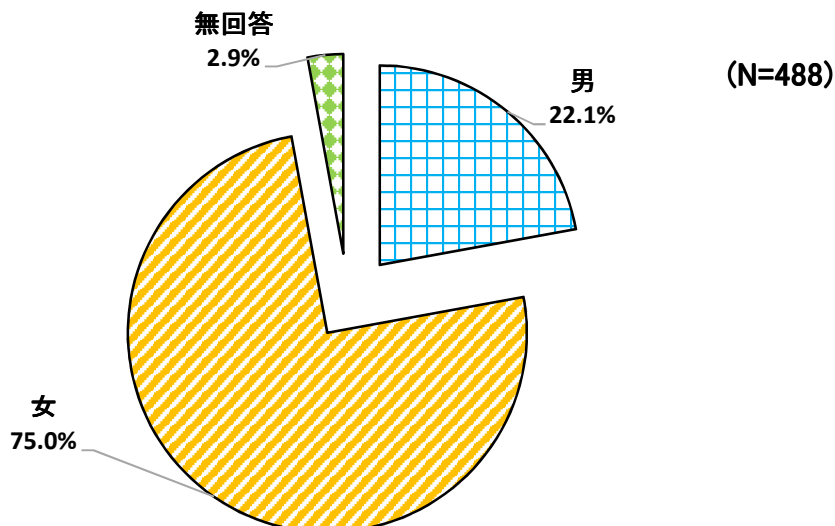
回答者の年代

・年齢では「60代」(31.1%)と最も多く、次いで「50代」(23.8%)、「70代」(21.3%)、「40代」(10.5%)、「30代」(5.7%)、「80歳以上」(4.9%)となっている。



回答者の性別

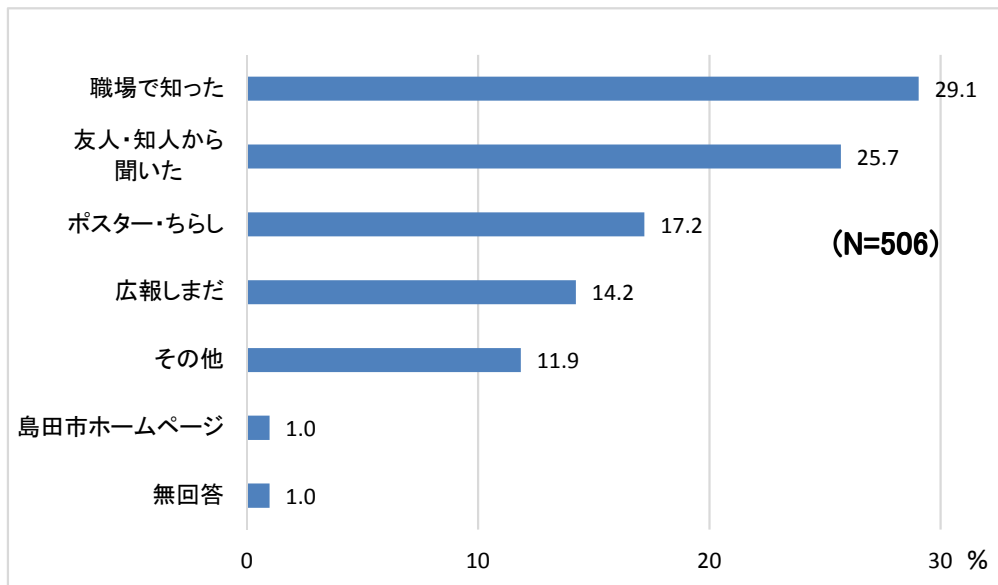
・性別では「男性」(22.1%)、「女性」(75.0%)と、女性が多くなっている。



2 長尾和宏氏講演会 「平穩死」10の条件について

問1 長尾和宏氏講演会 「平穩死」10の条件の開催は何で知りましたか？

・「職場で知った」が(29.1%)と最も多く、「友人・知人から聞いた」が(25.7%)、「ポスター・ちらし」(17.2%)、「広報しまだ」(14.2%)となっている。

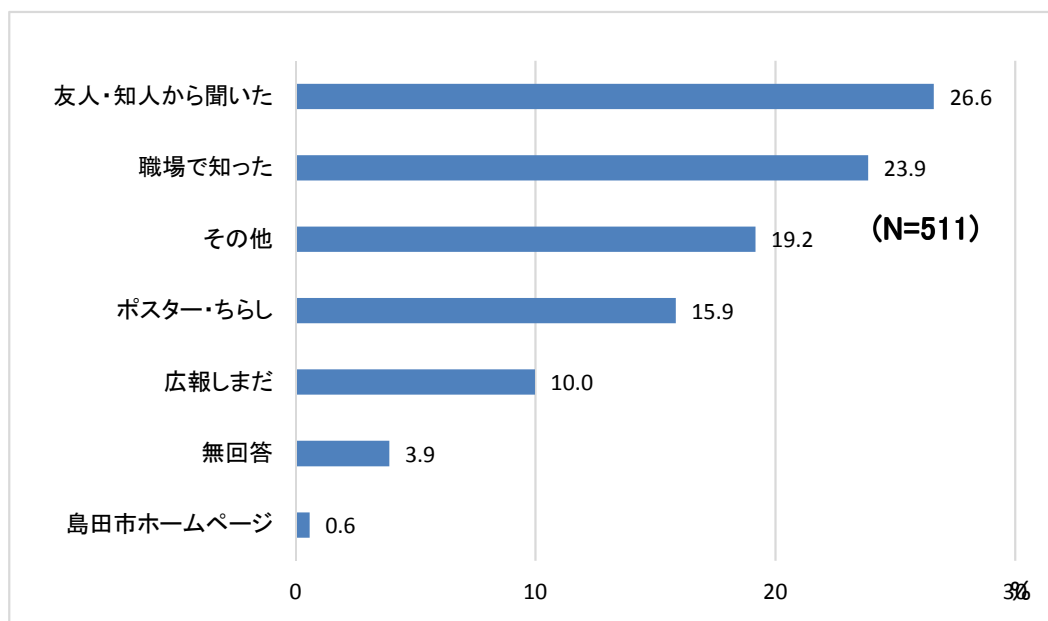


意見	性別	年代
《 ポスター・ちらし 》		
通院している病院で。	男性	70代
六合公民館(ロクティ)	男性	60代
公民館で見つけた。	男性	50代
病院	女性	70代
薬局のチラシ	女性	60代
通院先の医院でのポスター	女性	50代
保健センターの掲示	女性	30代
《 案内 》		
島田市よりの連絡(健康づくり課)	男性	70代
市役所からの連絡	男性	70代
民生委員定例会資料、長寿介護課通知	男性	60代
民生委員連絡あり。	男性	60代
郵送案内	男性	60代
案内をいただきました。	女性	70代
健康づくり課より(民生委員)。	女性	70代
サロン宛のお知らせ	女性	70代
行政からの手紙	女性	60代
市役所から文書が送付された。	女性	60代
市よりの連絡	女性	60代
包括より手紙を頂きました。	女性	60代

意見	性別	年代
《 案内 》		
保健センターより(民生委員)。	女性	60代
保健センターより案内をいただいた。	女性	60代
通知が来た。	女性	50代
民生委員のため、ご案内便りをいただいた。	女性	50代
市の保健福祉センターより。	女性	40代
《 家族の勧め 》		
家族(妻)	男性	60代
妻から	男性	60代
家族から	男性	50代
娘に誘われた。	女性	70代
夫から。	女性	60代
夫に誘われて。	女性	60代
家族より	女性	60代
民生委員の夫から。	女性	50代
《 その他 》		
FMLはまだ	女性	60代
FMLはまだ	男性	70代
FMLはまだ	無回答	70代
長尾クリニックのホームページで	女性	50代
長尾先生のブログ	女性	50代
食推協	女性	80歳以上
食推協総会で。	女性	60代
ふれあい事業	女性	60代
民児協議会	男性	70代
会合時。	女性	60代
島田市福祉課で	無回答	70代
団体の集まりで。	男性	70代
薬剤師会を通じて	男性	40代
島田市保健福祉センター	男性	70代
はなみずきセンター	女性	70代
保健センター	女性	70代
テレビ	男性	80歳以上

問2 講演会を聴いてみようと思った動機は何ですか？

・「友人・知人から聞いた」(26.6%)と最も多く、「職場で知った」(23.9%)、「その他」(19.2%)、「ポスター・ちらし」(15.9%)、「広報はまだ」(10.0%)となっている。



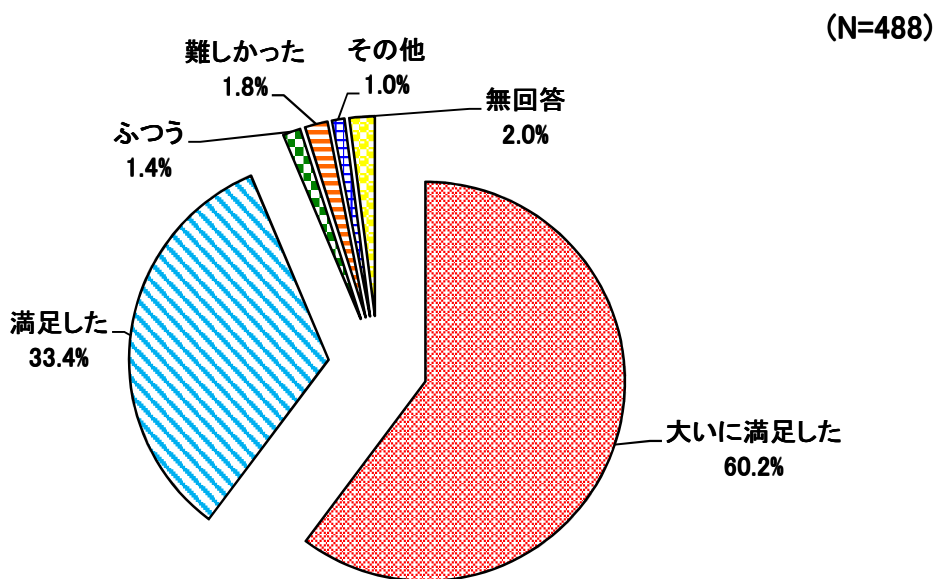
意見	性別	年代
《 興味があった・勉強したい 》		
関心がある。	男性	60代
今、介護中で大変興味があつて。	男性	60代
自分自身の終活を、地域町民としての基本知識の収集、民生委員としても…。	男性	60代
興味をもったから。	男性	50代
在宅医療に興味があつたから。	男性	50代
平穏死に興味があつた。	男性	50代
興味のある内容	男性	50代
これから介護が必要な人が増え、平穏死が重要なテーマとなるため。	男性	50代
自分で考えてみたい。	女性	70代
サロン代表として聴講したいと思いました。自分自身のため。	女性	70代
聞きたい内容のようだったから。	女性	60代
勉強になると思った。	女性	60代
実父が死を迎えつつある現実の中で自分はどうしたら良いのか、1つの考え方の参考にしたいので。	女性	60代
ご案内によって、興味を感じました。勉強させていただきたいと思いました。	女性	60代
勉強会	女性	60代
今年になって死生学カフェに参加している。	女性	60代
マスメディアで取り上げている為と自身の事を整理しておきたい為。	女性	60代
平穏死というものを深く知りたかった。	女性	60代
自分自身のことについて考えたかったから。	女性	60代
民生委員として情報を得るため。	女性	60代
主題が自分のもとめていたことにぴったりだった。	女性	50代
興味があつた。	女性	50代
母が入院しているので、どうしてこれからの介護をしようかと考える機会にするため。	女性	50代

意見	性別	年代
《 興味があった・勉強したい 》		
講演名に興味をもったから。	女性	50代
民生委員として勉強になると思った。(両親も90歳代)	女性	50代
興味があった。	女性	50代
気になったから。	女性	50代
現場で日々利用者さんに関わっていて疑問に思うことが多かったため。	女性	50代
外来の業務で在宅の必要性を感じたから。	女性	40代
興味があったから。	女性	30代
興味があつて。	女性	30代
在宅医療に興味があるため。	女性	20代
《 長尾先生 》		
静岡近辺では開催が少ない。	男性	80歳以上
本を読んで。	男性	70代
以前から長尾氏の講演を聞いたかったので。	男性	70代
市の図書館にあった長尾さんの本を2冊読んで。	男性	50代
以前から長尾先生の話をしっかり聞いたかった。東京で訪問医療の英先生の話で「死」を思い、生きることを考えたから。	男性	50代
長尾先生の話は聞いてみたいと思っていたから。	女性	70代
長尾先生のお話を聞いてみたかった。	女性	60代
以前、先生の本を読んで興味があったから。	女性	50代
長尾氏の本を読んでブログを見ていたので。	女性	50代
以前より一度聴きたかった講演だったので。	女性	50代
講師が長尾和宏先生だから。	女性	50代
長尾先生の講演を以前に聞いて。	女性	50代
本を読んだことはあるが、ご本人の言葉で聞いてみたかったので。	女性	50代
長尾先生の本を何冊か読んだことがある。(母が認知症なので)	女性	50代
3年前、長尾先生の本(「平穏死」10の条件)を読み、興味関心を持ったため。	女性	50代
本人が興味があり、同じ考え方もある為。	女性	50代
2年前に看護協会で聴講した。	女性	40代
以前から興味があったこと。自宅の近くでの講演だったこと。	女性	30代
《 案内・家族等の勧め 》		
主人のすすめ。	女性	60代
夫から。	女性	60代
妻のすすめ。	男性	60代
子供が市役所に勤務の為、子供より聞いた。	女性	80歳以上
すすめられて。	男性	60代
友人・知人から聞いた時は何も知らなかったので是非行ってみたいと思いました。	女性	70代
薬剤師会を通じて。	男性	40代
地域医療を支援する会総会で。	女性	60代
長寿介護課からの案内。	男性	70代
長寿介護課から送られてきた。	女性	60代
市の健康づくり課からお知らせをいただき、その気になりました。	女性	60代
市からの内容で。	女性	40代

意見	性別	年代
《 案内・家族等の勧め》		
六合公民館(ロクティ)ですすすめられた。	男性	60代
民生委員会議	男性	70代
団体の集まりで。	男性	70代
会合時。	女性	60代
《 その他 》		
家族に在宅で迎えたいと希望している人がいる。	女性	60代
身近に高齢者が多く、接する機会が多い為。	女性	60代
家族が病気になって。	女性	60代
ある病にかかっており、「死」が健康な人より身近にあると思っているので。	男性	50代
実父を在宅介護しているため。	女性	40代
在宅介護、介護の仕事をしているので。	女性	40代
FMLはまだ	無回答	70代
FMLはまだのインタビュー他	男性	70代
FMLはまだ	女性	60代
日本尊厳死協会員	男性	70代
市役所内	男性	70代
はなみずきセンター	女性	70代
自分自身のことだから。	女性	80歳以上
年齢的にその時期に近づいて来ていますから。	女性	80歳以上
自分の今後が心配。	女性	70代
初めて聴く内容だったから。	女性	70代
自分も70代後半になったので。	女性	70代
福祉の仕事に役立てたい。	女性	60代
リビング・ウイルを知りたかったから。	女性	60代
平穏死という言葉を知りたかったから。	女性	60代
とても良い話が聞けました。全市民に聞かせたい。	女性	60代
エンディングノート上映を観たから	男性	50代
エンディングノートの企画が素晴らしく、その第2弾として。	女性	50代
前回のリビング・ウイルの映画(エンディングノート)等がよかったから。	女性	50代

問3 「平穩死」10の条件について感想を伺います。

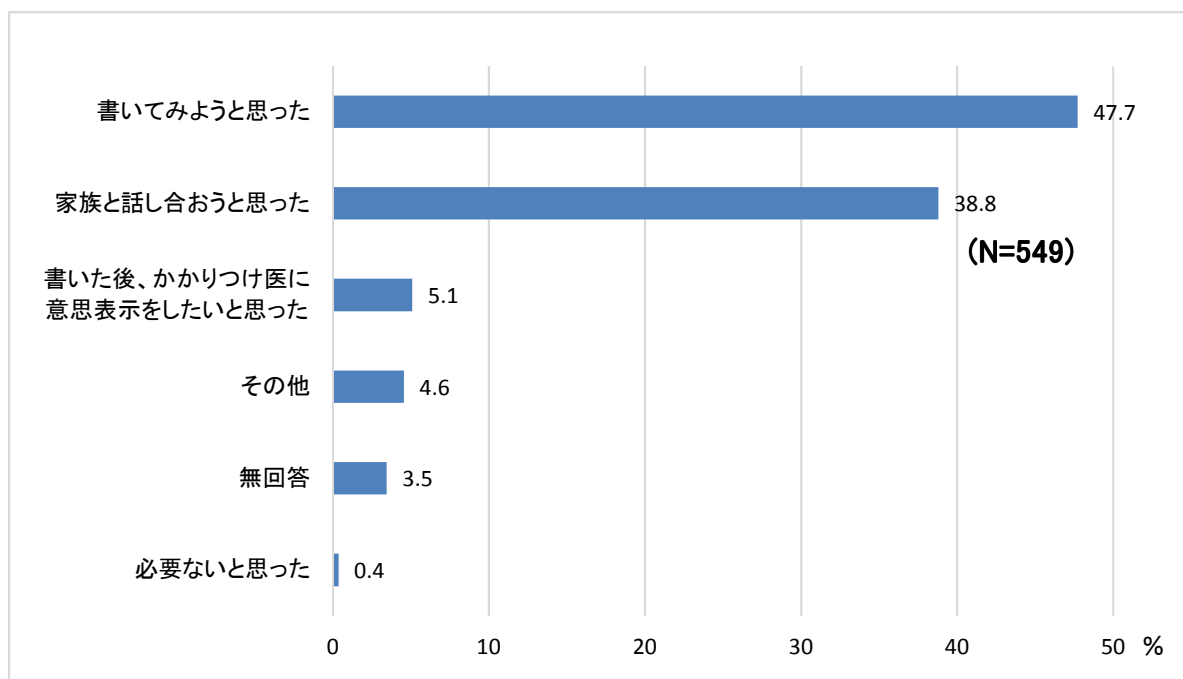
・「大いに満足した」(60.2%)と最も多く、「満足した」(33.4%)、「ふつう」(1.4%)、「難しかった」(1.8%)となっている。「大いに満足した」と「満足した」を合わせて93.6%となっている。



意見	性別	年代
開業医の先生方に是非協力していただき、本人の望む死を迎えられると良いと思う。	女性	40代
もっと長く聴きたかった。	女性	50代
とても良かったです。考え方が色々あるという事。	女性	60代
理解できる所が多いですが、分からない所もある。	女性	60代
是非本を読みたい。	女性	70代
難しい。	男性	70代
話し方が理解しにくかった。もっと整理した話し方が良かった。	男性	80歳以上

問4 「リビング・ウイル」説明会について感想を伺います。

・「書いてみようと思った」が(47.7%)、「家族と話し合おうと思った」(38.8%)、「書いた後、かかりつけ医に意思表示をしたいと思った」(5.1%)、「必要ないと思った」(0.4%)となっている。



意見	性別	年代
《 作成済・作成中 》		
すでに書いているが、家族との話合いのタイミングが難しい。	女性	50代
静岡市が既に進めている。入手済み。	男性	70代
エンディングノート下書き中。	男性	60代
もう書いてある。	男性	50代
既に尊厳死協会へ入り、子供達にもその事を話してある。	女性	60代
すでに入っています。	女性	70代
書いてある(近いもの)。しっかり書きたいです。	女性	70代
もう12年前から準備しています。	女性	60代
すでに書いてあります。絶対必要と思います。先生、頑張ってください。大切な事だと思っています。大賛成です。	女性	50代
以前書いたけど、改めてと思いました。	男性	50代
《 その他 》		
書いてみようと思った。	女性	70代
少し書いてみたいと思ってきた。	男性	60代
書いておくべきと思う。	男性	60代
「エンディングノート」を書いてみようと思いましたが、改めて思いました。	男性	50代
70代後半の義両親に対し、「死」の話をするのはご法度のような気もしていましたが、逆に大切なことだと感じました。孫も含め家族で話してみたい。	女性	40代
親戚の死を4年前に経験し、後悔みたいな疑問みたいな思いが少しありましたが、自然死で良かったのだと思えました。高齢の両親にはなかなか話出せませんが、息子(20代)とは話せそうです。	女性	50代
親と一緒に話そうと思いました。	女性	30代
素晴らしい先生に出会えてよかったです。先生の著書を読んでみようと思いました。	女性	60代

意見	性別	年代
《 その他 》		
大切ですね。	女性	60代
死ぬことを考える機会になり、亡くなった父の事を思い出しました。	女性	50代
勉強させて頂きました。ありがとうございました。	女性	70代
定型フォームとして利用でき島田関係者の努力に敬意を表します。	男性	60代
入会の方法、法律の進み方など、リビング・ウィルの説明をもっと欲しかった。	男性	80歳以上
悩み中です。	女性	40代
分からない。もう少し議論が必要。	男性	50代

問5 本日の催し物及び在宅医療についてご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

意 見	性別	年代
《 良かった 》		
分かり易く、適切、明快な講演で大変素晴らしいお話でした。(スライド上映が効果的だった。)	男性	80歳以上
生きているありがたさ、価値を再認識致しました。	男性	70代
これまでの長時間かけた準備企画が大変だったと思います。並々ならぬ準備、地道な努力がなければ成功しないと思います。富士山が美しいのは御殿場のゴロゴロしたしっかりした地盤があるから、美しい富士山が存在するのです。これと同様に目線をはなやかなところだけでなく、縁の下の力があるからです。こういう人々(市職員)に多謝です。大成功オメデトウ！！「平穩死」10の条件、自然体が良いということがよくわかりました。	男性	70代
good	男性	70代
発想の逆転が必要であると理解できました。	男性	70代
たいへんよかったです。	男性	60代
もっともっと市民にPRしてください！	男性	60代
多くの人に聞いて欲しいと思います。	男性	60代
この様な企画を引き続きやってほしい。	男性	60代
とてもいい講演会でした。長尾氏の著書を読んでみようと思います。	男性	60代
とても良い企画でした。何よりも良い講師を選ばれましたね。在宅医が誰か全くわからないので市として繰り返し情報を下さい。三国連太郎の「大病人」最近観たばかりでした。(長尾さんの本の中に出ていたので)。話がうまい。映像も良い。台湾の18歳の医学生の死の体験のこと、びっくりしました。日本にも必要なことです。	男性	60代
島田市がリビング・ウイル制度を実施する事に大賛成です。	男性	60代
長尾先生の熱心な講演は印象に残りました。	男性	50代
ありがとうございました。	男性	50代
非常に良い2時間の講演で充実していました。リビング・ウイルについても考えさせられる事項でした。島田市は早い対応で(リビング・ウイル)びっくりです。	男性	50代
もう少し時間をゆっくり聞きたかった。(時間でとばすことがあった。)明るい「死」について語り合える場があると良いと思います。リビング・ウイルは自分の整理に必要。本人の意思は本当に必要だし、話し合いをしたくてもなかなかできないので、証拠として書くものがあると良いと思います。もう少し進んだら、スマホで書くのでなく残すことができたならきっと簡単ですよ。葬儀のときに確認したりして故人も偲べますから。個人が勝手にでなく故人にそって対応するもの。これから必要ですね。	男性	50代
「エンディングノート」上映や今日のような講演会など終活に関して勉強できる機会をこれからも頻繁にやってください。	男性	50代
大変勉強になりました。ありがとうございました。	男性	40代
リビング・ウイルは大変素晴らしいと思います。是非、市民に周知できるようにして下さい。お願いします。	男性	40代
毎年開催して啓発すべき。継続的に市民に発信すべきだ。	男性	30代
大変有意義なお話、ありがとうございました。私は10年前に公証役場で遺言書、書いて来ました。家族は養女夫婦で夫は13年前に旅立っていますので急いだ事情もあります。	女性	80歳以上
認知症になってしまった時、リビング・ウイルが大切だと思います。心積もりを持つ。	女性	70代
大変良かったです。	女性	70代

意見	性別	年代
《 良かった 》		
講演内容が非常に参考になり、ユーモアも含めとても楽しい講演会でした。ありがとうございました。平穏死、尊厳死、安楽死等。	女性	70代
地域包括ケアが自治体で作りに上げていく方向ですが、これから1人ひとりの市民に理解されるような広報が必要で、今回のような講演会は大変有効だと思います。	女性	70代
とても良い勉強になりました。	女性	70代
講演ありがとうございました。	女性	70代
今を生きる大切さ、自分にしかわからない人生、自分でしっかりと見つめ伝えていきたいと思いました。	女性	60代
今まで考えていなかった事が、発見したように思いました。	女性	60代
講演会という時間が足りなくなり、最後はかけ足かきり切れトンボになるのが常ですが、今日はゆっくり聞いてよかったです。	女性	60代
2025年のことを考えると今すぐにも法律等の整備が必要と感じた。リビング・ウィルを国会で取り上げられている事は知らなかったが、市民だけでももっともっと広めていくことが大切だと思った。どなたもさけて通れない死というものを真剣に考える機会を与えられたと思った。	女性	60代
今をより良く生きる。そして穏やかに死を迎えたいと改めて思いました。	女性	60代
とても分かりやすい講演でした。またこのような会の開催をお願い致します。	女性	60代
映像もあり大変分かりやすかったです。	女性	60代
もっと、もっとお話をお聞きしたかったです！！ありがとうございました。	女性	60代
とてもよい講演会でした。分かりやすく最後はよい歌と映像でしめていただきありがとうございました。	女性	60代
すてきな講演をありがとうございました。とても勇気がわいてきました。	女性	60代
とても参考になりました。もう少し聴きたく思いました。90歳になる母との最後、笑顔目標で接していきたいと思えます。擬似棺体験は貴重な体験でしたが、もう一度体験してみたいと思いました。次回を楽しみにしています。	女性	60代
大変良かった。有難うございました。	女性	60代
ほんとうに良いお話でした。	女性	60代
5～6本の映画の内容はその通りだと思った。色々考えさせられたし、少し真剣に考えようと思った。家族に意思表示と書類に残すようにしようと思った。孤独死と平穏死の違いが分かった。かかりつけの医師がいて良かったと思う。こんな良い映画をもっとTVで放映してほしい。大変勉強になった。平穏死をしたいと思う。	女性	60代
今日のお話を聞いて死について考えさせられました。平穏死、素晴らしいと思えます。本当に有難うございました。	女性	60代
ありがとうございました。	女性	60代
素晴らしい企画です。また、在宅医療推進協議会の存在もステキです。	女性	50代
ありがとうございました。自分の死、家族の死から目をそむけないで考えていくべきと思っていました。機会をいただくこと、ありがたいです。	女性	50代
訪問看護をしていて先生が話された内容は良く理解できました。多くの人に在宅医療を知ってもらいたいこと。その人らしく生きられる地球にしていきたいと思えます。ありがとうございました。	女性	50代
たいへん楽しく聴くことが出来ました。毎日をみんなでまじくり、仕事に励みたいと思えました。自然のなりゆきが大事ですね。ありがとうございました。	女性	50代
学ぶことが沢山ありました。考えること、意思表示をして周囲とも語ることが大切だと思えました。	女性	50代
このリビング・ウィルのシリーズを今後も続けてください。	女性	50代
これからの人生について考える良いきっかけになりました。	女性	50代
「平穏死」についてよく考える機会になりました。頭では賛成意見です。心がついていけるか考えたい。(高齢の両親と同居のひとり娘です。2世帯同居です。)	女性	50代

意見	性別	年代
《 良かった 》		
リビング・ウイル、とても大切だと分かりました。主人の父母にも説明して皆で理解して記入したいと思いました。私の勤務する施設では、自然の形での看取りをしています。ターミナルケアの方、先月4人またご飯食べれるようになってターミナル解除になっています。正しかったと思いました。苦痛なく安らかな最期を迎えています。とても勉強になりました。仕事にも生かしていきたいです。ありがとうございました。	女性	50代
明るい話だった！地域で広まる様。閉鎖的な島田にも明るい兆しがみえてきた。	女性	50代
長寿になり私自身両親の介護で大変な思いをしたので、とても今の時代大切に問う内容であり、大変良いと思いました。是非、またとりあげて欲しいです。長尾先生素晴らしい。お話も笑いがあり、分かりやすく、楽しく「死」の話。すごいと思います。父は胃ろうで苦しみました。とったら安らかに呼吸しました。先生の言うとおりです。今、愛犬の平穏介護中です。16歳3ヶ月。獣医さんからはどうに寿命を過ぎてると言われました。でも、元気です！！	女性	50代
日本の未来が少し明るくなった気がします。	女性	50代
死についての考え方、考えてみようと思います。死はこわい！と考えてしまいます。少し楽になりました。そして今がんばって生きていこう！と思っています。	女性	50代
人の死と向き合うことは、本当に深みがある事だと思いました。島田市の保健師が勇気を出して御発言してくださった事、本当に感謝です。	女性	50代
富士宮市から参加。島田市はすごいと思いました。富士宮市は在宅医療すら整備されていない為考えさせられました。	女性	50代
今日は長尾先生のお話が伺えて大変良かったです。ありがとうございました。リビング・ウイル、初めて知りました。書きたいと思いました。	女性	50代
「平穏死」について、なんとなくこういうものというふわっとした意識しかなかったけれど、今日の講演を聞き自分のこととして理解することができました。これからリビング・ウイルも含めて家族と一緒に相談し考えていきたいと思っています。	女性	40代
自宅で死にたいと思ったし、島田に生まれて良かったと思いました。	女性	40代
具体的なリビング・ウイルの様式が見れてよかった。	女性	40代
エンディングノートをもう一度上映して下さい。できれば、金谷や川根でもやって下さい。今日は本当にお話が聞けてよかったと思いました。今日の話をもっと深める為にも先生の本を読んでみたいと思います。また、介護現場で働くものとして上から目線の介護をしていないか振り返りたいと思います。本当に本当に今日は考えさせられ、聴けて良かったです。明日からまた仕事頑張りたいと思います。	女性	40代
私はケアマネ。遠方で母が一人暮らしです。いつも考えている答えが少し見えてきたようです。	女性	40代
本日の講話を聞き、勉強になりました。今後も催し物を行ったらいいと思います。	女性	30代
施設に勤務していますが、平穏死の考えで近年看取りをしています。自然に穏やかに亡くなるということは幸せだと思います。	女性	30代
終末期の大切さを感じました。		
本日の講演掲示等参加する事は簡単ですが、この日を迎えるための準備等本当にご苦労様です。この様に啓蒙していただけるととてもありがたい事だと思います。今日家に帰って平穏死について話合ってみようと思います。	無回答	70代
《 要望 》		
市として在宅医療の具体的な進め方(実施策)を政策として行動化すべき。	男性	70代
リビング・ウイルをもっと市民の皆さんにPRすると共に医療関係者にも理解させるべき。自己本位の死のあり方についても皆で共有していくようにすべき。	男性	60代
在宅医療が医師会の協力の下、推進されていくことを期待しています。	男性	50代
パネルの内容をもっとゆっくりみたい。ホームページに掲載してくれるといいと思います。掲載済みでしたらすみません。	男性	40代
人工透析は自費にすべき。	女性	80歳以上

意見	性別	年代
《 要望 》		
長尾Dr.のような方が島田市にいっぱいほしい！！	女性	70代
在宅医療の現実一抹の不安を感じます。訪問診療、訪問看護に満足できるか？	女性	70代
在宅医療で平穏死を希望しますが、高齢者二人暮らしで介護などで実際できるものかどうか不安です。自分の終活を考え、主人とも話し合おうと真剣に思いました。在宅医療にたずさわられる医師が島田市には何人の先生が居られるのでしょうか？	女性	70代
私はひとり暮らしです。平穏死を希望したいなと思いましたが。そうするには、元気で長生きしなくちゃ。初倉では、訪問診療する医院が1軒しかありません。もっと増やして欲しいと思います。	女性	60代
おおりりまで来れない方が大勢います。各地区の公民館等でお話をして欲しいです。(先生は無理でしょうから包括の方達が手分けしてこういう機会を作ってあげてください。)がん告知を受けたらやはり病院へ行き、医者への指示通りの治療を受けることになってしまうと思う。本人の強い意志がないと難しいことと思う。認知症、自分が失くなっていく事、本当になりたくない事。でも、そうなった時医者でなく地域、包括、ケアマネ等がどういう生き方をしたらよいかという講習や指導を密にして欲しいと思う。	女性	60代
在宅と云われても、24時間365日来てくれる医療がない以上、現実には難しい。公的な看護が土日祝日訪問看護、往診ができてない以上、紙に書いたモチです！！	女性	60代
かかりつけ医と連携し、死亡したときの証明(診断書)を書いていただけるようにしておけば、在宅医療、在宅での最後は何も困らないと強く感じました。人生の最後をどう生きるかに(どう終わるかでなく)考えをしぼる事にしたいと思った。	女性	60代
もっと詳しく聞きたい。	女性	60代
在宅医療は十人十色で介護をする年齢もさまざまに経験した人でなくては分からない。でも、経験した人に話を聞くのは心、気持ちが癒される。でも、大変です。	女性	60代
家族が在宅医療を選択できる環境を作らなければならないと思う。職場、訪問看護、介護等。	女性	60代
島田市がリビング・ウイルの取組を始めたことは素晴らしいことと思います。ただ、多くの市民の方がこのことを理解し、作成されればそれで良い終末期を迎えられることとイコールではない気がします。リビング・ウィルで在宅での終末期を穏やかに送られるためには、それを支える体制が大切だと思います。(在宅看介護のサポート体制)。そのためには島田市が高齢者に対する温かい視点からの施策を行っていくことが重要となるのではないのでしょうか？他市町より厳しいとの評価のある介護保険施策も含め、より温かな医療、介護、福祉施策へと向かわれることを期待します。誰もが安心して老後を送ることのできる町となりますよう！	女性	60代
エンディングの映画を再上映して下さい。	女性	60代
「エンディングノート」をもう一度観たい。	女性	60代
かかりつけ医がいない……。近くに医者がいない。	女性	50代
市民集会を頻回に行うことで、リビング・ウィルが広がっていくと思います。	女性	50代
実際の在宅医療の終末期の仕方を教えて欲しい。	女性	50代
精神疾患があるとデイサービス他の施設の利用が難しい。薬の管理等々、色々な理由があるとの事。どんな人でも利用できるようにして欲しい。うつ病など現代は精神疾患を持っている人はとても多いと思うから。保健師、社協の人、事務的な対応になっていませんか？相手の立場になって一緒に悩んでくれますか？もう一度初心にかえってください。介護者が賢くならないといい介護はできません。介護者のための勉強会、是非お願いします。(治療の事、介護の事)長尾先生のテレビ、5/9観ました。先生のような方が島田市にいてくださったらいいのにと思いました。	女性	50代
島田でも在宅が広がって欲しいです。(訪看やっています)	女性	50代

意見	性別	年代
《 要望 》		
住みなれた地域で生活できる支援を行っていけるように、安心してリビング・ウィルを説明できるようにするために医療でもどうしたいのか本人と話す時間をもって欲しい。	女性	50代
大病院信仰でいたくはないけど、高齢者を診てくれる病院自体が少ない。又は、在宅医療してくれる先生を、かかりつけ医を探したいけど少ない。家族分を一人で頑張り過ぎないようにLWを広報しまだなどで何回も載せて欲しい。	女性	50代
是非、24時間体制の訪問看護の体制確立を宜しくお願いします。医師もお忙しいと思いますが、往診を是非して頂けると嬉しいです。我が家は子供なし。将来の終活の為に是非夫婦で話したいと思いました。次回こそエンディングノート上映あれば是非観たいです！是非企画してください。待ってます！！畳の上でピンシャンコロリと逝きたいです。その為に健康に過ごせるよう自己管理に努めたい。	女性	50代
在宅医療が充実することを期待します。家族の精神的、肉体的又経済的な負担が少しでも緩和されるよう行政も一緒に考えて欲しいと思いました。理想は在宅医療。でも、現実はかなり(なかなか)難しいですね。	女性	50代
特に金谷地区の医師(医院)不足の解消を是非早急に解決していただきたい。医師数も少なく高齢化で心配です。	女性	50代
在宅で平穏死を迎えるために市内もしくは近隣市町で訪問診療や往診、緩和ケアをしてくれる医師の情報を医療マップなどに載せて欲しいと思いました。	女性	40代
もっと長く聞きたかった。在宅医療に関わる医師が増えて欲しいです。	女性	40代
療養病棟に勤務しています。モニター、酸素、血圧測定など、最後の旅立ちには不要だと私は思っています。家族に見守られ旅立つ人もいますが、たった一人で旅立つ人達も沢山います。病院ではなく、在宅での平穏死を迎える人達が今後増えることを望みます。そんな人達のお手伝いをしていきたいです。	女性	40代
現在、在宅介護をしています。脳卒中で右麻痺、胃ろうで週3回のデイに通っています。デイでは、食事をしています(昼)。医療マップを見て、往診可とか書いてあるといいかと思えます。病院退院時、個人病院にと言われますが、かかりつけ病院を決めかねます。介護タクシーが少ない。緊急時に困ります。行きは良くても帰りが困ります。在宅にはかかせないと思えます。	女性	40代
施設に入り寂しさを感じながら死を考えるよりも、自宅でゆっくりと時を過ごし最期を迎えることが皆できるように在宅医療の進行を望みます。	女性	40代
生きやすい地域を作っていく。みんなで(市民)ごちゃまぜの職種で作っていったらいいなと思います。誰もが在宅(家)がいいと思っても、それができない。在宅で終わることが出来る地域を作っていければ、どう自分が生きて最期を迎えるかということを考える機会を与えていただきありがとうございました。	女性	40代
市民病院に勤務している看護師です。もう少し病院の看護師も在宅医療の認知が高まって在宅と病院の連携をとれると良いなと思えました。病院で在宅医療を考えられるよう、退院後どうしたいかまでは介入できるようになると良いなと思えます。	女性	20代
私の主人は先天性の病気にて35歳で生体腎移植をして、それが5年でダメになり今、60歳(今年8月)になります。この講演を私に誘ってくれた友人が「今私は移植、臓器をあげるのはいやだ。逆にそこまでしてもらってまで生きたくない！」と言いましたが、事実主人はもしなければ、今のように透析で生きていません。これも、延命治療です。家族にとってはもし、透析をやめたら主人は死にます。自分にとっての平穏死は、私が元気故考えられます。が、主人にとっては彼が透析して20年生かされてる事に本人も家族も感謝しているのが本音です。以上。失礼しました。	女性	50代
胃ろう、延命等メリット、デメリットを市民に教えるべき。在宅を支える開業医がもっと必要。見守る体制整備が必要。	無回答	無回答
子供の頃、祖父母は自宅で在宅医療が当たり前の田舎でした。命の大切さ、命とは何か、子供心に受けとめる事ができ、家族の大切さを実感しました。ヘルパーとして仕事をしている中、自分の両親を(80代になり)、まさに在宅看護したいと感じています。	女性	50代

意見	性別	年代
《 要望 》		
自分の死に方について、家族皆を含めて決めるのが大事と思いました。	女性	30代
10数年前に父が在宅で死亡しました。当日の午前中に緩和医療の説明を受け、苦しい時はいつでも電話で呼んでくれれば良いと言われ退院しました。ところが、退院した当日の午後3時頃からお腹を押さえて苦しがるので、何度も病院へ電話しました。しかし、市民病院の在宅医療の医師は5時まで診察があるので来れないという事。お腹を押さえて苦しむ父に私達家族は何も術なく温めたり、さすったりしました。しかし、父は最後に「もういい」と言って温めていた湿布を投げ、そのまま眠ってしまいました。まわりがまぶしいと言いつつ暗くしてくれと言うので、もう終わりなんだろうと思い、病院に電話をすると間もなく医師が最後の看取りに来ました。父が死亡し、その後の体の始末をしていて、おもしろしをしていることに気がきました。あの時、あんなに苦しんでいたのは尿が出るからだったんだろうと思いました。医師は来られなくても看護師さんが来て排泄をしてくれただけでも、随分楽に最期を迎えられたら良かったと思います。近くの町医者に往診を頼めば良かったと反省する日々が続きました。緩和ケアを約束した場合、往診に来られないときの対処を考えて欲しいと痛切に思いました。	女性	60代
私の父は膀胱癌の末期で11月に亡くなりました。病状については父にはお伝えできなかったのですが、在宅(自分の生まれ育った家で過ごしたい)で療養をしていました。父は延命治療を選択しませんでした。病院の先生には母も家族も冷たい態度をされて見放されて随分つらい思いをしました。自己免疫治療を亡くなる1ヶ月前まであきらめず、好きなものを食べ、好きなTVをみて楽に過ごしていました。顔色も良く、病院には入院しないでいた事が父にとっては良かったのだと講演を聞いたら気持ち的に楽になりました。本人にとってはつらい治療をするより落ち着いた気持ちで過ごせた事は、大変良かったのだと…。平穏死という言葉は聞いたことはありませんでしたが、もし自分が亡くなる時には、自分らしく残された家族が亡くなってからも一緒に過ごした時を笑顔で過ごして欲しいと思います。沢山の方が延命で命をつないでいる人がいると思います。父の様に自分らしく最後の時を迎えてくださればと思っています。仕事にもいかしていきたくと思います。これからもこの様な講演を開いてくださるとよいです。ありがとうございました。	女性	30代
《 その他 》		
平穏死でありたい。	女性	80歳以上
時間がなくて最後まで聞けなくて残念。	無回答	80歳以上
3年前にこの様な知識を欲しかった。3年前、姉ががんで死にました。抗がん剤漬けで1ヶ月でした。とても悔やんでいます。検査を受けるまではとても元気でした。	男性	70代
リビング・ウイルを書きます。	男性	70代
死ぬって大変なことですね。	男性	70代
死は必然ではありますが、死を怖れず日々暮らしていきたくと思います。寝たきりにならない為、健康に留意していく事。	男性	70代
上から目線、2025年問題、包括ケア等、地方に「地力」をつけなければならない。在宅医療の環境を整える必要がある。在宅死したいが家族の支えなし。ACP、地域包括ケア、組立を早急にやりましょう！「市民の力で…」心強いメッセージだ。島田市地域医療を支援する会の活動も医療と介護の一体化を視野に入れていきます。地域包括ケア組立も協力していきたい。	男性	70代
長尾先生の本を読みます。	男性	60代
高齢者を抱えていて身につまされた。家で介護は他の家族は負担が大きいと思う。	男性	50代
本人と家族、周囲との平静の関わり方が大事という思い。本人のせいでも周囲との関わりがよくないせいもある。それに気がつけたい。	男性	50代
両親を自宅で送った為、これから平穏死の時代になると思っています。	女性	70代
リビング・ウイルはじめて知りました。	女性	60代

意見	性別	年代
《 その他 》		
現在が関わっている方で家族はありますが、別棟に住んでおり本人とはあまり関わりを持ちたくない様子です。本人は大分、認知が進んでいて非常に不安があります。「おひとりさま」がいいように映っていますが、一人になっている時間の淋しさや不安はどうすればいいのかと考えます。	女性	70代
色々な面から平穏死、リビング・ウィルを認識しました。もう少し時間があれば細かく聞きたいなと思いました。帰ったらこれを参考に家族と話し合っていきたいと思います。	女性	70代
私も平穏死を望んでいます。主人とエンディングノートも書きました。	女性	60代
認知症について全ての人が在宅でひとりである方が良いでしょうか。	女性	60代
平穏死についてもっと知識や情報を得たいと思った。自助、公助、協助で出来ることを考え実行したい。	女性	60代
一度は迎えなければならない「死」ですが、理屈で理解しても受入れるにはちょっと怖いです。	女性	60代
ご近所のお医者様が皆こうだといいですね。臨床医の大切さを感じます。	女性	60代
LWを考えるきっかけになりました。	女性	60代
医師の往診がお願いできないとき、救急車をお願いするしかなく心配していましたが、かかりつけ医がいれば大丈夫と聞き安心です。今日を機会に家族で話合いたいと思います。	女性	60代
認知症の方が大いに歩いて良いという事は驚きでした。地域の住民の協力、理解が必要だと思います。	女性	60代
介護→快互の言葉が印象に残りました。当施設の理念、生きがいを持って共に生きる快互にしていきたい	女性	50代